

主要な宇宙開発利用施策の概要

平成24年7月
内閣府宇宙戦略室

目 次

内閣官房	1
内閣府	3
警察庁	7
総務省	11
外務省	15
文部科学省	17
農林水産省	39
経済産業省	41
国土交通省	53
環境省	59
防衛省	61

内閣官房

情報収集衛星の開発・運用事業

平成24年度予算額63,002百万円（平成23年度予算額83,492百万円）

事業期間（平成10年～）

内閣衛星情報センター

03-3267-9500

事業の内容

事業の概要・目的

- 外交・防衛等の安全保障及び大規模災害等への対応等の危機管理のために必要な情報の収集を主な目的として、情報収集衛星の開発・運用を行います。
- 内閣衛星情報センターは、内閣官房内閣情報調査室の下に設置された機関として、内閣情報会議（議長は内閣官房長官、委員は各省次官級、我が国のインテリジェンスに係る基本方針等を総合的に検討。）等に従い、情報収集衛星の計画的な開発・打上げ及び運用を行います。

条件（対象者、対象行為、補助率等）

国

委託

JAXA、NICT等の
宇宙開発関連機関
等

事業イメージ

- 地球上の特定地点を1日1回以上撮像できるよう、光学衛星2機・レーダ衛星2機から構成される4機体制を早期に構築し、この体制を安定的かつ継続的に維持するため、計画的に情報収集衛星の開発・打上げを行うとともに、宇宙基本計画に基づき、情報の質・量・即時性の向上等により、情報収集衛星の機能の拡充・強化を図ります。

＜今後の打上げ予定＞

- ・平成24年度：レーダ4号機
- ・平成26年度：光学5号機、レーダ予備機
- ・平成28年度：光学6号機、レーダ5号機
- ・平成29年度：レーダ6号機

- 官邸及び各省からの情報要求等を受けて、情報収集衛星による撮像を行い、必要な判読・分析を加えた結果を、官邸及び関係省庁に提供します。

